

中山間ふるさと活性化基金

農山村振興課 地域振興班

中山間ふるさと活性化基金の目的と内容

<目的>

農地や土地改良施設の利活用を基本とする地域住民の共同活動（地域住民活動）や、この活動を推進する人材の育成、都市住民も含めた保全活動等の支援を行うことを目的としている

<内容>

■ふる水基金

平成5年度から平成9年度にかけ約10億円を積立

■棚田基金

平成10年度から平成12年度にかけ約6億円を積立

割合：国1／3 県2／3

中山間ふるさと活性化基金の対象地域

■ ふる水基金

中山間地域（5法指定地域：過疎法・山村振興法、特定農山村法、半島振興法、離島振興法）及び、これらの市町と一体的として事業推進することが効果的な地域

■ 棚田基金

主傾斜 1 / 2 0 以上の農地面積が該当地域の全農地面積 1 / 2 以上を占める地域

中山間ふるさと活性化基金の取組事業

①研修事業

- ・ふるさと水と土指導員の研修会開催及び全国研修会への派遣

②推進事業

- ・冊子（新田舎人、季刊地域）の配布
- ・ボランティアと農山村集落の共働による集落維持活動事業
- ・稼ぐ農山村チャレンジ支援事業
- ・ながさきde農業IJU推進事業
- ・野生シカモニタリング調査委託
- ・特定鳥獣イノシシ捕獲技術研修事業費
- ・その他

※令和6年度の運用益は、1,226千円

※令和6年度の取崩しは、21,972千円

計23,198千円

代表的な取組紹介

ボランティアと農山村集落の共働による
集落維持活動

令和2～6年度（5年間）

ボランティアと農山村集落の共働による集落維持活動事業費

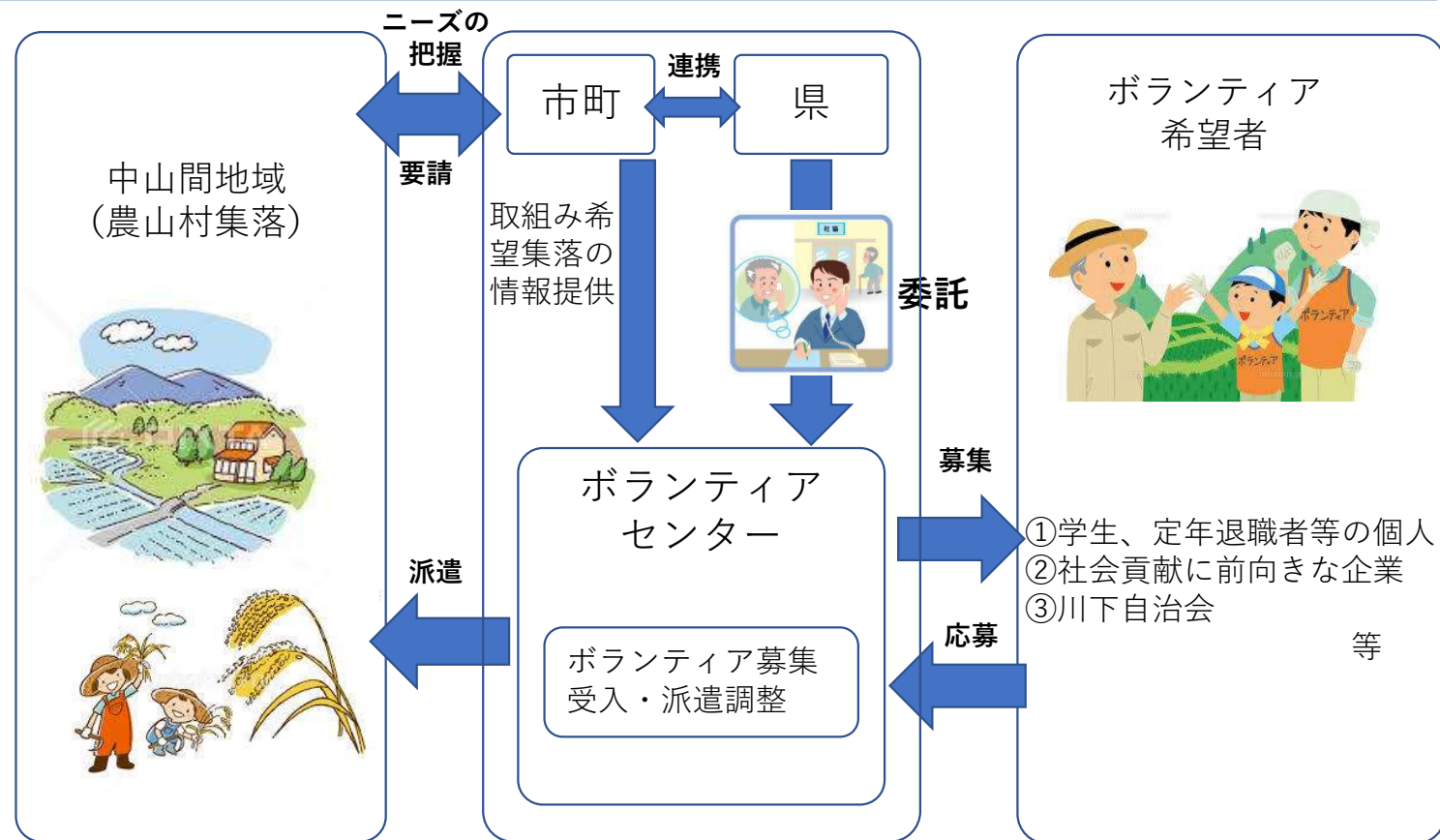
・農山村集落では人口減少、高齢化により、集落の保全活動が困難となっていることから、県がボランティアセンター（NPO法人）を設置して、学生、定年退職者等の個人、社会貢献に前向きな企業等を募集し、農地、農業用水路やため池等の維持管理が困難となっている地域に派遣し、農山村集落の住民との共働による保全活動を実施する。

事業の概要

①学生、定年者等の個人
②社会貢献に前向きな企業
③川下自治会 等
多様な外部サポーターとの共働による、農地等地域資源の保全管理に取り組む集落を支援する。
事業実施にあたっては、①～③の各ボランティアと農山村集落間の保全活動内容の調整等をボランティアセンターで実施する。

【ボランティアセンターの業務】

- ・ボランティア活動を希望する受入集落との打ち合わせ
- ・関係市町、県（出先機関含む）との調整
- ・ボランティアの募集、調整、派遣
- ・ボランティア活動の情報発信



ワイヤーメッシュ敷設補助



用水路の清掃(草刈り)



農道補修生コン打ち、ワイヤーメッシュ張り



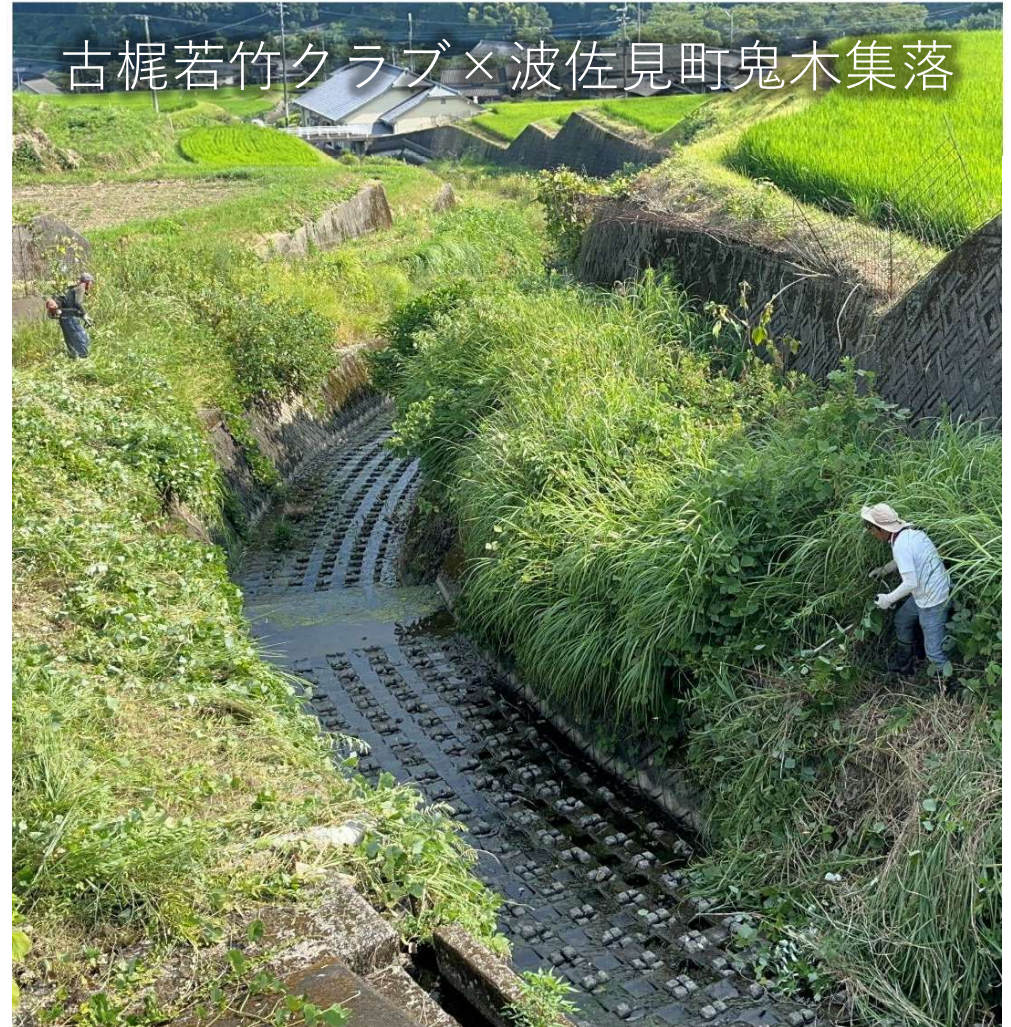
R6 集落と県内企業等との共働活動の取組状況		R7.3月25日	
市町	集落名	企業名	共同活動の内容
長崎市	千々木場	大和リース(株)	耕作放棄地の開墾
	大中尾	メットライフ生命(株)	稲刈り、掛け干し
諫早市	有喜	九州テクノ(株)	馬鈴薯収穫
	平田西 1	(株)西海建設	草刈
	平田西 2		草刈
	平田西 3		草刈
	平田東 1		草刈
雲仙市	上岳	馬場グループ	WM撤去、畝立て
大村市	北野岳	ひぜん里山学舎	水路の清掃
	南野岳	ハーモナイズ。	水路の清掃
東彼杵町	黒木岩屋	個人ボランティア	稲刈り、掛け干し
	新井手 駄地高峰	川棚高校 新井手営農集落	景観作物植え 草刈
平戸市	古梶	モロフジファーム(株)	草刈
	春日	個人ボランティア	草刈
	中山間下寺	田平南小緑の少年団	農道整備
	大野川	平戸土地改良区	草刈
	大野町平原		草刈
松浦市	大野町磯道 上の原		草刈
	OMU		草刈
	馬々野尾	古梶若竹クラブ	WM設置
	北平	松浦高校、 個人ボランティア	WM設置
	川内	個人ボランティア	WM設置
	七十手	松本鉄筋工業	WM設置
	丸尾・中嶋	夕霧の里山林保全の会	農道生コン打ち
	鯨ノ尾、アブミ川		農道生コン打ち
	下園田		農道生コン打ち
	打越・大久保 狩原・一本松		農道生コン打ち
佐世保市	末橘	夕霧の里山林保全の会	農道生コン打ち
	口の里	(株)ニッチツ	草刈
32集落		19企業	



株式会社西海建設 × 諫早市平田集落



古梶若竹クラブ×波佐見町鬼木集落



代表的な取組紹介

集落・産地サポート事業

令和7～9年度（3年間）

集落・産地サポート事業費

事業の目的

- 集落・産地で課題となっている人口減少・高齢化に対し、作業のアウトソーシング化を支援することにより、集落・産地の維持・活性化を図る。

事業の概要

外部委託化の推進

- 人口減少や高齢化で保全管理が困難な集落の負担を軽減するため、**農村サポートセンターを設置**し、外部委託を推進
- 産地においてドローンを活用した病虫害防除を行い、防除効果や作業労力等を実証し、一斉防除体制を構築

集落とサービス事業体とのマッチング支援

- 草刈りや水路の泥上げ等を担う**サービス事業体**をリスト化し、**集落とのマッチング**を支援

スマート技術の導入環境整備

- SNSを利用した防除適期情報の発信体制を整備し、迅速・適切な情報の伝達

<事業のイメージ>



集落サービス事業体のリストアップ

各地域において、集落保全作業が受託可能な企業や個人などの掘り起しを行い、集落サービス事業体としてリストアップを行う。

外部委託化の推進

高齢化等により、集落の保全作業が困難な場合は、草刈機等の機械を保有しているサービス事業体へ委託する方法があることを集落に周知し、サービス事業体の活用を促す。

リモコン草刈り機の実証試験

リモコン草刈り機を活用した作業委託の効果を検証したり、作業委託マニュアルを作成するため、壱岐市及び波佐見町において調査を実施。

